

県青連

県女性連

中国・四国ブロック交流会

9月21日(金) ~22日(土)、高知県民文化ホールにて中国・四国ブロック商工会青年部交流会高知大会が開催され、本会から46名が参加した。



主張発表する川口さん

本県代表の小豆島町商工会青年部員川口裕妃子氏が「青年部活動に参加して『新たなワクワクが止まらない私』をテーマに発表を行った。小豆島オリブマラソン全国大会を通して感じた青年部活動の素晴らしさを語りかけ、優秀賞を受賞。なお、ブロックの代表は広島県に決定した。

記念講演では、全国商工会青年部連合会顧問で参議院議員の宮本周司氏が「今後の商工会と中小企業・小規模事業者振興について」と題し、今後の展望を語った。



講演する宮本周司氏

9月4日(火) ~5日(水)、中国・四国ブロック商工会女性部交流会徳島大会が、徳島市のアステイ徳島にて開催され、本会からは41名が参加した。

主張発表大会では、香川県代表の土庄町商工会女性部副部長 河合真澄さんが、趣向を凝らしたイベントの実施等さまざまな取り組みを行っている女性部活動について発表し、優良賞を受賞した。なお、ブロックの代表は、島根県に決定した。

主張発表大会当日は、台風21号の影響により、高速道路上での待機も余儀なくされたが、翌日は晴天のもと、大塚美術館などを訪れ芸術の秋を楽しんだ。



主張発表する河合さん

主張発表する河合さん



さんまる いちまる

「30・10運動」でエコな忘年会・新年会を!

幹事様は適量注文をお願いいたします。

30・10運動とは?

宴会の最初の30分と終わりの10分を目安に自分の席で食事を楽しむ時間とすることにより、食べ残しを減らす運動です。全国の多くの自治体で取り込まれています。

食べ残しを減らすことが求められています

国連が世界の諸課題に対応するためSDGs(エスディーゼーズ)という国際目標を立てており、「食品ロス」と呼ばれる食べ残しなどの削減も目標とされています。食品ロスは家庭や外食産業で多く発生しており、一人ひとりが食べ残さないことが重要です。

宴会の食べ残しは約2割!

宴会時の食べ残しは18.9%(飲料類を除く・平成27年度農林水産省調査)となっています。「量を1割減らして、1品グレードアップ」などと注文すれば、料理の美味しさによる満足感と食べ切ったことによる達成感も得られるのではないのでしょうか。宴会4箇条で名幹事を目指しましょう。

宴会4箇条

- その1 出席者の年齢や好みに応じた適量注文!
- その2 乾杯後の30分とお開き前の10分を目安に食事を楽しむ時間を設けよう!
- その3 料理がたくさん残っているテーブルから、少ないテーブルへ料理を分けよう!
- その4 幹事さんや司会の方は「食べ残しのないように!」と声掛けをしよう!

残さず食べよう!
さんまる・いちまる

30・10運動

- 宴席での食べ残しを減らす運動です。
- 乾杯後の30分間、お開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみましょう。

食べ残しが減れば、主催者さん、幹事さん、そしてあなたも、みんなしあわせな気分になれるよ!

香川県

日々の感謝の気持ちは、食べることで伝わります。